

②の写真は、2013年バングラデシュで起こった事故の様子です。縫製工場が入ったビルが崩壊し、1,100人以上が死傷しました。原因は、建物の違法建築です。このビルで作られていたファストファッションには、私たちが知っているブランドも含まれていました。

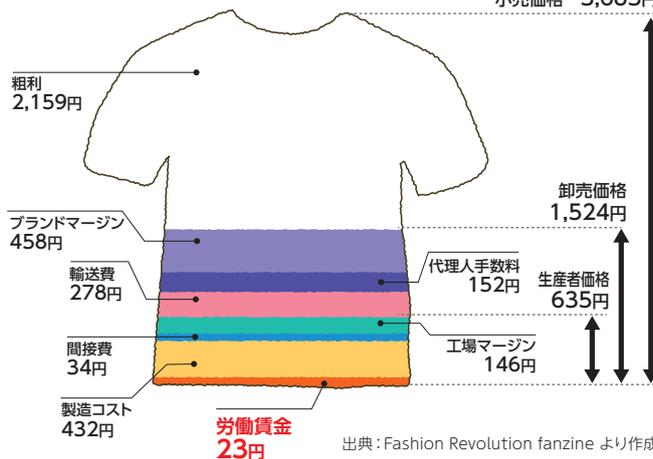
ここで働く人の1日の労働時間は14時間、月給は約5,000円でした。



なぜ労働者は、このような状況で働かされていたのかな？

■ 洋服の価格の内訳

(1€=127円 換算:2017年平均)
小売価格 3,683円



<企業>
“労働環境の改善と情報開示”

きびしい労働環境で従業員を働かせていた会社は、欧米を中心に不買運動の対象となりました。



縫製工場の様子 カンボジア・プノンペン

©2014 Samer Muscati/Human Rights Watch



<市民>
“ファッション・レボリューション”

この事故を受け、世界各地でファッションの革命を呼びかける市民運動が occurred. 毎年4月24日は「ファッション・レボリューション・デー」と呼ばれています。



FASHION REVOLUTION 2018 洋服から未来を考える

写真提供: EFJ



主につながっている目標について調べてみよう！

